

「第41回雲南懇話会」開催のご案内

－ 食・茶・祈り・暮し / 夢・好奇心・探求心 －

雲南懇話会代表幹事 前田栄三

「第41回雲南懇話会」を下記のとおり開催致しますので、ご案内します。

「雲南懇話会」は、中国雲南省の最高峰・梅里雪山（6,740m）を中心とする「雲南・チベット地域」及びその周辺地域の総合的な研究を進める事を目的に、2004年12月に発足、今年で13年目となります。懇話会は、国内での「地域研究の集い」と現地での「Field Work」&「Study Tour」で構成されます。2016年6月以降、雲南懇話会主催、京都大学ヒマラヤ研究ユニット& AACK 共催となりました。

記

1. 日 時； 2017年 7月17日（月）12時45分～17時30分。茶話会；17時30分～18時40分。
2. 場 所； JICA 市ヶ谷ビル（旧国際協力総合研修所）国際会議場。茶話会は国際会議場横の会議室で行います。
<https://www.jica.go.jp/hiroba/about/map/index.html> JR 中央線・総武線「市ヶ谷駅」下車。

3. 懇話会の内容 <講師、演題、講演の順序など変更ある場合は、ご了承をお願い致します。>

- ① 「ミャンマー自転車紀行、1011 km - 全15行政区のうちシャン州やカレン州など9行政区を走行-」
サイクリスト、通訳案内士(Licensed guide)、会社員 芳井 健一
- ② 「タイ王国の歴史と食文化 - タイ料理の特徴と地方色 -」
アジア料理研究家、日本タイ料理協会理事、スタジオアロイ主宰 酒井 美代子
- ③ 「茶と雲南 - 中国と日本の資料、医薬書から見える茶の姿 -」
人間文化研究機構「アジアにおける「エコヘルス」研究の新展開」共同研究員 岩間 真知子
- ④ 「ネパール・ヒマラヤ地域における中国の開発案件と『仏教の政治』
- チベット系民族集団の目線から -」
駒沢大学総合教育研究部文化学部門 准教授 別所 裕介
- ⑤ 「日本人にとって山とは何か - 自然と人間、神と仏 -」
日本山岳修験学会会長、慶應義塾大学名誉教授 鈴木 正崇

4. 懇話会参加費用； 一人2,500円。但し、学生・院生は無料。
茶話会参加費用； 一人1,500円。学生・院生は500円。
5. 参加申込； 前田栄三 e3maeda*ab.auone-net.jp or 小林尚礼 bakoyasi@gmail.com まで。
(SPAMメール防止のため、@を伏せ字にしています。使用时、変換願います。)

以上

ご参考； 懇話会では自然科学・社会科学を問わず交流を進めています。この為、対象地域は雲南・チベット地域を中心にタイ、ラオス、ミャンマー、カンボジア、ベトナム、インド、ブータン、ネパール、パキスタン、四川省、青海省、新疆ウイグル自治区、内モンゴル自治区、モンゴルなどに及びます。近年、シルクロードを西へ更に西へ、西域から中央アジアのキルギス、カザフスタン、タジキスタン、ウズベキスタンに及んでいます。京都大学ヒマラヤ研究ユニット：http://www.kyoto-bhutan.org/ja/news/139_2016-02-15.html を参照下さい。